

# 『庄内っこ日和』

令和3年2月22日  
庄内こどもの杜幼稚園 教頭 岩崎巧

はじめに…

保護者の皆様いつも当幼稚園のもりのこっこにご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。  
この『庄内っこ日和』は、昨年度から掲示用として始めた、当幼稚園の園外保育での子ども達や先生の様子を、当学園の理念や方針と重ね合わせながら皆様にお伝えする"ドキュメンテーション"です。  
晴れたよい天気という意味もある日和という言葉は、庄内っこの未来を明るく照らしています。  
このお便りを通して、日々子ども達や先生の様子や当幼稚園の考えを少しでも知って頂けるきっかけとなれば幸いです。  
今回は、年少組もりのこっこ（冬）の様子を配信したいと思います。今回は4名のお母さんに保育ボランティアで参加して頂きました。ご協力ありがとうございました。

今回のもりのこっこのねらい：  
・自然の中で、他児と体を動かす事を楽しむ。  
・様々な自然物を発見し、他児や保育者に見せたり伝えたりして、やり取りを楽しむ。

当幼稚園の「もりの子っこ」とは、「鎮守の杜(もり)の子ども(つまり当学園の子ども)」が、「森の子ども」になるという意味です。  
能勢にある野外センターや、能勢の田畑や川自然豊かな公園には、庄内にはない決して人工的に作り出す事の出来ない自然が溢れています。  
そこで子どもは、平常保育時以上に五感をフル活用しながら、四季ごとに活動する経験をします。それが、情操豊かな人間になる大事な活動であると思っております。（庄内の保育の根っこp37参照）

庄内の保育の根っこ



## もりのこっこ年少（冬）

### ①行くぞ！ワイルドコース



服部緑地公園に到着！年少組の子ども達は、まず公園を散策開始。コースはワイルドコース！その名の通り、崖登りをしたり、葉っぱの中に潜ったり、木のトンネルを潜ったりととてもワイルド！  
園長先生を先頭に、子ども達は、様々な自然に触れながら、ワイルドコースを歩きました。

### ②ご飯を食べて思いっきり遊ぼう

ワイルドコースをしっかりと歩いた後は、待ちに待った昼ごはん。沢山歩いた子ども達は、「お腹空いたー」と言いながら準備していました。  
外で食べる、手作りのおにぎりとお味噌汁は絶品。子ども達の満足そうに食べる表情を見ると、その美味しさが伝わってきますよね？

ご飯を食べた後は、それぞれにゆっくりと遊びました。木の幹の間で時間を過ごしたり、葉っぱのベットを作って、3.2.1.のカウトダウンの後に、葉っぱを投げて感触を楽しんだりしていました。お絵描きコーナーも盛り上がっている様子でした。



## 服部緑地公園で自然あそび

### ③お絵描きって楽しいな

子ども達は、見つけた草を描いたり、松の葉をテープで貼って髪の毛に見立てたりなど自然を活かして、お絵描きを楽しんでいました。その横で、本気で子ども達の似顔絵を描く保育者…保育者が思いっきり遊んでいる様子につられて、沢山の子どもが絵を描いていました。大人が何事も楽しんで取り組むと、子どものやってみてみたいが高まるんですね。

